

市長提案説明要旨

平成27年8月10日

お早うございます。

議長のお許しをいただきましたので、開会に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに、平成27年第2回鹿嶋市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにご多用中にもかかわらず、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

先月19日の梅雨明け宣言以降、連日のように、猛烈な暑さが続いております。

こうなると、気になるのが暑さ対策であります。

鹿嶋消防署によると、この1か月間で熱中症による救急搬送が30件（8月9日現在）もあり、例年の3倍に迫る勢いとのことであります。熱中症にならないためには、こまめに水分を補給することは勿論のこと、普段から適度な運動で発汗を促すなど、暑さに負けない体づくりを心掛けることが大切です。

議員各位におかれましても、健康には充分留意していただき、猛暑の夏を元気に乗り切って頂きますようお願い申し上げます。

提出議案の説明を申し上げる前に、直近の市政運営につきまして、若干、ご報告申し上げます。

まずは、市制施行20周年を記念する冠事業からです。

わたしたちの鹿嶋市は、平成7年に鹿島町と大野村の合併により誕生し、本年9月1日をもって市制施行20周年を迎えます。この節目に当たり、鹿嶋市の持つ豊かな自然と地域が育んだ悠久の歴史・文化を広く市内外へ発信し、その魅力を改めて実感していただくことを目的に、様々な記念事業を展開しているところです。

今年で、25回を迎える夏のビッグイベント、市内小学校5・6年生を対象とした「鹿嶋市フロンティア・アドベンチャー事業」を、7月28日から11日間に渡り、福島県の国立那須甲子青少年自然の家を拠点に、元気に開催しました。

参加者は、総勢70人で、テント生活を送りながら、原生活体験や、登山・沢登りなどの自然体験を通して、心の豊かさやたくましさを育みました。

私も激励にお邪魔しましたが、夕方の時間帯であったこともあり、炊さんの準備中で、子どもたちは、互いに協力しながら慣れない火おこしに汗を流しておりました。

「子どもたち同士、親睦を図りながら、仲よく・怪我なく・病気なく、楽しんで

キャンプ生活を送るよう」エールを送ってきました。必ずやこの経験は、参加された子どもたちの今後の人生に、貴重な財産となることと思っております。

8月8日、9日の両日には、平井海岸を会場に、恒例の「アントラーズカップ2015 かしまビーチサッカー大会」を、ビーチバレーやビーチラン、夏フェスしながらのステージパフォーマンス、砂像彫刻家を招いての「砂の造形体験」などとともに、「かしまビーチフェスタ2015」として開催しました。

例年に増して、趣向を凝らしたイベントがもりだくさんに行われ、サメ騒動により、止む無く、遊泳を禁止した平井海岸に、賑わいと活気をもたらしました。

なお、5日から始まった一連の「サメ騒動」につきましては、8日早朝、鹿島灘漁業協同組合を始め、漁業関係者の皆様のご理解とご協力のもと、海水浴場一帯にサメの進入を防ぐ防護網を設置し、遊泳禁止を解除したところですが、折からの高波の影響で、設置した網の一部が流され、翌9日には、再び遊泳禁止としたところ です。

波が落ち着き次第、再び、防護網を設置し、海水浴客の皆様の安全を確保してまいります。

また、今月29日には、夏の終わりを告げる風物詩となっている「第37回鹿嶋市花火大会」を、北浦湖畔で盛大に開催するほか、翌30日には、かしま大使である研ナオコさんのデビュー45周年記念コンサートを、勤労文化会館ホールにて、2回にわたり開催します。

そして、翌31日には、鹿嶋市市制施行20周年記念式典を、勤労文化会館ホールにて挙ります。式典は2部構成となっており、第1部では、市勢の発展に寄与された皆様や功労があった皆様に鹿嶋市表彰条例に基づき、市民栄誉賞、市民功労賞、善行賞として表彰いたします。

第2部では、鹿島開発を題材に、研ナオコさんのご主人であり、本市出身の野口典夫氏が製作した短編映画「ウミガメの約束」を放映するほか、作品に出演された、研ナオコさんと相川七瀬さん、かしま大使両名の舞台挨拶を予定しています。鹿島開発の構想が策定されてからすでに半世紀以上が経過しているところですが、今一度、当時の生活を垣間見る良い機会と考えております。

これらの記念事業を通じて、ふるさと“鹿嶋”への誇りと愛着をより一層深めることができると考えていますので、多くの市民の皆様の参加をお待ちしています。

次は、カシマサッカースタジアム内において、8月3日に開設された整形外科を専門とする診療所「アントラーズスポーツクリニック」についてです。

鹿島アントラーズFCによると、Jクラブによる診療所の開設は、全国初の取組

みであり、高性能のMRIなど、最新機器の導入により、確実な原因究明につながるほか、選手たちの医療全般を担当するチームドクターが常駐し、これまで蓄積したノウハウを活かして診療やリハビリを行うとのことです。

この取組みは、本市の医師不足解消に貢献するものであり、頼もしい限りであります。クラブの皆さんには、さぞや大変な労力を要されたと推測しますが、Jリーグ開幕以降、常に先頭を走ってきたアントラーズだからこそ成し得ることができた事業であり、市としても大きな期待を寄せているところであります。

以上、直近の市政運営の状況につきまして、その概要を述べさせていただきましたが、来月、招集させていただきます9月定例会において、私の市政運営に関する所信を述べさせていただきたいと考えております。

次に、本臨時会に付議します案件は、一般会計補正予算に係る専決処分の報告1件であります。

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,877万8千円を減額し、総額350億2,283万4千円とする補正予算について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行いました。

歳入の主なものとしましては、市債における道路整備事業の減を見込みました。

歳出としましては、0102号線市道整備事業における物件移転補償費を減額しました。

債務負担行為及び地方債の補正については、0102号線市道整備事業における、限度額をそれぞれ変更したものです。

以上で説明を終わりますが、なお詳細につきましては、お手元の議案書により御審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。

以上、私からの挨拶とさせていただきます。